Ishi Datami

いしだたみ

～２００８年　秋号～

長崎南高校関西同窓会第18回総会

とき　　２００８年１１月１５日（土）

１５時から受付、１５時３０分開会（２時間半予定）

ところ　『ＫＫＲホテル大阪』１４階「オリオン」の間

大阪市中央区馬場町２の２４　電話０６－６９４１－１１２１

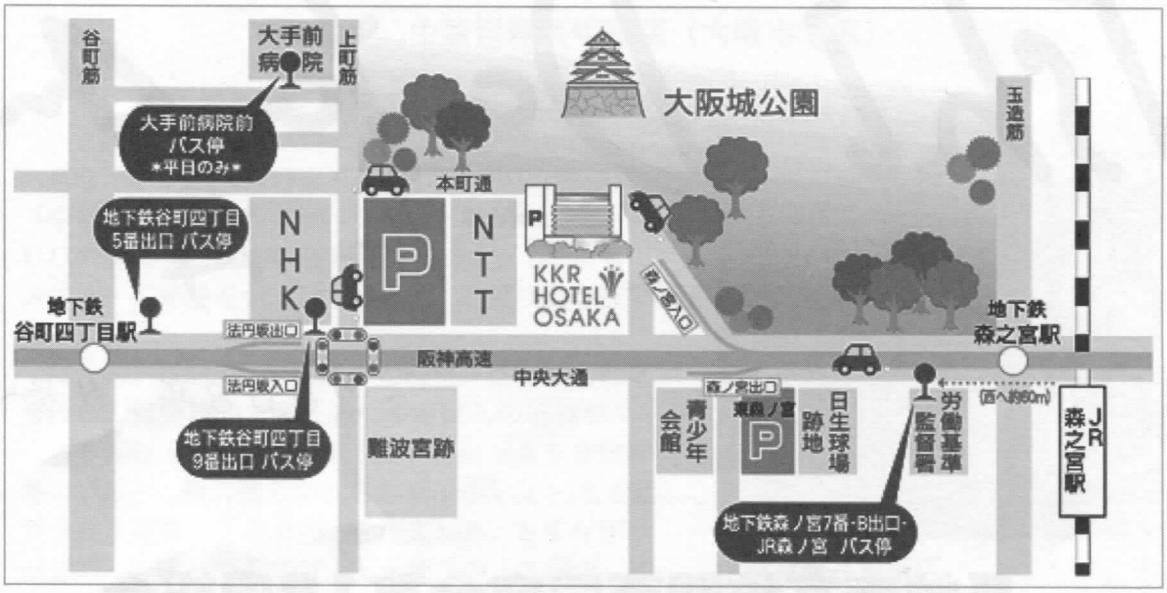
ことしの会場は**大阪城**を望む絶好のロケーション。
ゲストには**廣瀬方人先生**をお招きして開催します。
会場案内と廣瀬先生のプロフィールは次ページに。

参加申し込みは同封のはがきで１０月２７日までに

会費　　男性：８０００円　　女性：６０００円　　学生：無料
年会費　２０００円（お振り込みいただいていない方は、当日お願いします）

★１８時ごろから、２次会も予定しています。
会場…同ホテル６階「ザ・ボードルーム」

《会場案内》



◆最寄り駅

ＪＲ環状線「森ノ宮駅」から西へ

地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」から西へ

地下鉄中央線・谷町線「谷町４丁目駅」から東へ

※いずれも徒歩１０分程度。なお、谷町４丁目駅の「９番出口」はこの時期、駅工事のため封鎖されている可能性があります。ご注意ください。

◆シャトルバス

森ノ宮駅、谷町４丁目駅からシャトルバスが運行されています。詳しくはホテルのホームページ（http://www.kkr-osaka.com/）をご覧ください。

《廣瀬方人先生プロフィール》

1930年、長崎市生まれ。15歳の時に被爆。大学卒業後に高校の英語教師となり、南高には昭和37～51年、同56～61年に勤務。日本語教師として中国に赴任した際、被爆者健康管理手当の支給を打ち切られたことをめぐり、在外被爆者訴訟を原告として闘った。今年、日韓の平和交流に尽くした人に贈られる「韓日平和功労賞」を受賞。

受賞を記念して、廣瀬先生には会報の今春号に喜びの声を寄せていただいています。

愛校心と同窓会～*第１８回総会に寄せて*

関西同窓会会長　大石　哲史（７回生）

先日、１枚の往復葉書が来ました。南高創立５０周年記念事業の一環として卒業生名簿を充実するべくその改訂に着手したとのこと。来たる平成２３年がその応当年だそうです。そこで、かつて福岡同窓会に出席した折、ある先輩よりいただいた昭和３６年９月発行の南高新聞の創刊号(写)に目をやりました。そこには「新生の鐘高らかに！　長崎南高開校」「伝統のよき創造者たれ」の見出しのもと、初代校長の古川憲介先生の力強い訓示が述べられていました。あらためてその校訓とやら、

ひとつ　「理想は高く、気魄と情熱に燃えよ」
ひとつ　「自主自律、一意学道に精進せよ」
ひとつ　「健康で明朗、品位ある学徒たれ」
ひとつ　「親和と友愛に充ち、礼節を重んぜよ」

⇒⇒⇒　皆さん、いやでも思い出すのではありませんか！？

更には「一校の輝かしい校風と伝統とをつくる歩みは一朝一夕に成るものでなく、長いいばらの道」とも述べておられました。

今や母校において今春の卒業生は第４５回生、既に約２万２０００人の同窓生が輩出されてきた訳です。きっと今も続いている先の伝統に育まれたことを少しの誇りに思い、一人一人が各々のフィールドでご活躍のことと思います。「桜梅桃梨」と言われるように人はそれぞれ特性・特質をもっており、その人生においていろいろな花を咲かせ実をつけています。「隣の芝生は青く見える」と他人をうらやましがっても、それは他人の人生にしかならず、自分という木の枝に自身の花や実をつかせることで自分の人生がいきる訳ですよね。

さて、そういう自分はどうなのかと自問自答。

まずは同窓会を語る前に「愛校心」はどうか？……と。自分の心を有り体に照射すると、何も最初から南高を目指した訳でもなく、ただ市内の公立高校に入りたく受験(当時は合同選抜、ただし多少は地域性も考慮されたかも知れません)した結果が南高だったという次第(因みに小生の妹は西高)。だからといって決して愛校心というものがない訳ではありません。大事なのは与えられた状況を“出発点”としてとらえ、何かを得る“努力”をしておればきっと誰でもそれは湧いてくるものだと思います。そうは言っても思い出すのは、全く身に付かなかった雲仙合宿と汗臭かったクラブ活動(柔道)と無味乾燥な3年間の男子クラス生活だけというのは寂しいですよね。

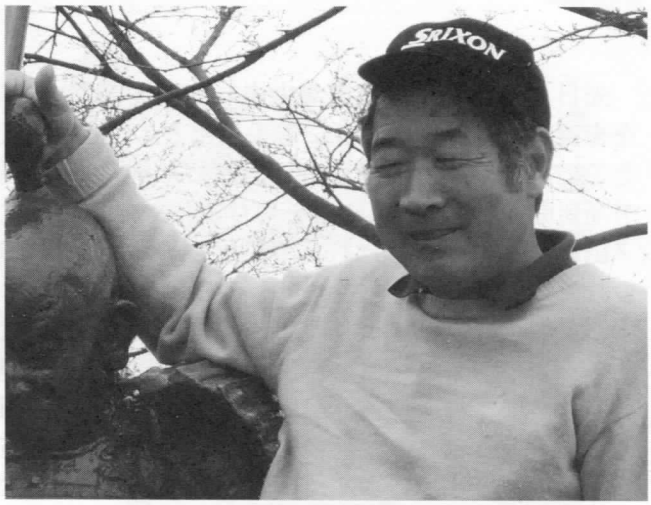
卒業して３８年、関西勤務が殆どの私が南高関西同窓会の存在を知ったのは１６年前。２年間の福岡勤務の折、福岡同窓会に参加したのが関西情報を入手したきっかけでした。その後は業務優先で同窓会なんぞすっかり忘却の彼方。ところが年齢とともに多少仕事も落ち着きをもてたのか平成１０年頃より関わりだして今日に至っている次第です。

つい同期生とは破顔一笑するものの、それに加えて先輩の方々、後輩の人達、恩師を含めた人生の先達との交流はこの歳になっても人格形成には欠かせません。これこそ同窓会の価値そのものであり元気をいただく源なのでしょう。特に私にとっては男女共学の経験のなかった失われた3年間を取り戻すにはやや遅い(！？)と思いながらも、本当に心が和む会なのです。

いよいよ１８回目の総会。今年は会場を文字通り大阪のど真ん中、大阪城天守閣一円を望める好立地のところにご案内いたしました。ふるさと長崎は観光と文化・歴史の町。さるく博以降も「交流人口」を増やそうと、いろんな施策をうっているようです。今度の総会でも関西同窓生の「交流人口」が少しでも増えればと切に願っております。

惜別

関西同窓会の初代会長を務められた古川源蔵さん（１回生）が、８月に亡くなられました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



源蔵君　やすらかに

八尋　重義（１回生）

古川源蔵君の突然の死には同窓生の皆さんも驚かれたことでしょう。私も彼の早すぎる死にショックを受けています。

彼とは昭和３６年南高に入学した時同じクラスとなり３年間ラグビー部で汗を流して以来の付き合いでありました。数少ない関西在住の１回生として関西同窓会の設立に参画し、初代の同窓会会長を引き受けてくれました。定年になってからは積極的に同窓会行事、総会は勿論、ゴルフ会、ポラリスのハイキング等に参加してくれました。昨年８月の伏見稲荷へのハイキングには病後の体でありましたが参加し伏見の酒も楽しんでいました。９月のゴルフ会では体が痛い痛いといいながらも１ラウンドプレーしました。しかし、その後すい臓がんが発見され酒もゴルフも出来なくなってしまいました。彼が最後に大勢で酒を飲み、ゴルフをしたのは南高の同窓の人たちでありました。長崎を愛し、南高が大好きであった彼にふさわしかったのではなかったかと思っています。

発病してからは時間が許す限り彼を訪問し色々と話をしましたが長崎の話が多くなり、もう一度長崎に帰りたいと何回か口にしました。もう少し良くなったら一緒に帰ろうと約束しましたがその約束を果たせないまま彼は突然逝ってしまいました。それだけが心残りであります。

源蔵君、やすらかにお眠りください。　　合掌

トラックを疾走するごとく

松本　藤一（２回生）

相手校のラガーマンを厳しいタックルで屠（ほふ）り、楕円の毬（まり）を抱えてグランドを疾駆した長崎南高の初代ウイング古川源蔵氏は平成２０年８月２１日亡くなられました。「古川さんが亡くなった！」その報せを聞いた時は、一瞬、事故かと思いました。しかし聞くところによると、１年程前から調子が悪かったらしい。丁度、マレーシアから帰国した後、何時もの気取らない雰囲気で「やあ！」と手を上げて笑っておられたが、その後からの不調ということのようです。「享年６３歳」、惜しむらくは、その去り際もまるでトラックを疾走する如く、余りに早過ぎたことです。

歴史を開く「南高１回生」というお仕着せのレールを走る宿命は決して軽いものではなかったと思いますが、その負担に少しも怯（ひる）まず、旗手として走りつづけられた功績は大きなものでした。

「生は奇なり。死は帰なり」です。また逢う日まで御元気で。

関東同窓会に出席して思うこと

関西同窓会副会長　藤原　由美子（６回生）

関東に姉妹がいる（姉４回生、妹８回生）関係で、この７～８年、関東同窓会にはほとんど出席しています。まず驚くのは参加者の多いこと（毎回、優に１００名は超えています。家族の出席もあるようです）。第２に、毎回の企画がいろいろとバラエティーに富んでいることです（龍踊があった時には感激でした）。

一応、私は副会長という立場なので、我が関西同窓会と比べてしまいます。関西は、いつも３０～４０名位の参加者で、毎年ほとんど同じメンバーです。「アットホーム」と言えばそれはそれで良いのかも知れませんが、やはり人数が問題だと考えます。幹事会としても、毎月１回の定例会を開き、いろいろと増員のための策を考えていますが、なかなか結びつきません。

個々には「山登りのポラリス」「俳句の探鳥句会」「ゴルフ同好会」と、関東に負けないくらいに活動しているメンバーもいます。他にも同好の小さなグループを作って、仲間を募ってみてはいかがでしょうか？　仲間が出来ると総会にも出席しやすくなると思います。

個人的なことですが、私の主人は来年定年を迎えます。今になって行く所のないことにあせっている様子です。そうです、６０歳からでは遅い！！　これから定年を迎える皆々様、今のうちに同窓会に出席しておいて、会社とは違う居場所を確保しておいて下さい。一日中家の中にいると、家の者にもうとまれます。同窓会にどんどん出席して新しい仲間を作ってみませんか？

七回生事務局便り

長崎はおくんちの季節、諏訪神社やお旅所にやぐらが立ち上がり、市民会館通りの銀杏も熟して、秋色に染まり始めました。

さて、７回生は８年ぶり２回目の同窓会を、来年１月３日に開催します。関西在住の同窓生の方々も、是非ご参加下さい。南高の校舎で共に過ごした３年間、懐かしいひとときを過ごしませんか？

日時：平成２１年１月３日午後６時

会場：ベストウェスタンプレミアホテル(宝町、元プリンスホテル)

会費：１万円

なお、長い年月の間に住所不明の同窓生が増え、案内状を発送出来たのが５００通、そのうち４０通が戻って来ました。２００人を超える方たちに案内出来ないままとなっています。案内状を受け取っていない方などご存知の方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい。

《南高七回生同窓会事務局》長崎市馬町１８－１「雨ふり道玄坂」内

電話０９５－８２５－９７７９　　清水幸子(旧姓、中園)

長崎県事務所より

関西と長崎との交流を深めるために

平成20年10月

長崎県大阪事務所長　松尾 太一

長崎南高校関西同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より、郷土の発展のために多大なお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

私ども長崎県は、ふるさとの素晴らしい文化や歴史及び豊かな自然などを、関西在住の多くの方々にご理解いただくために、いろいろな情報発信の取り組みを行っております。
今後とも、同窓会会員の皆様方の温かいお力添えをよろしくお願いいたします。

さて長崎県下には、130ものカトリック教会があり、昨年1月、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が、世界文化遺産「暫定一覧表」の追加資産として掲載されました。県内各地の教会やその関連遺産が、人類が共有して次世代に受け継いでいく地球全体の「たからもの」として、世界的にも高い価値があると評価された証と言えます。

長崎の教会群などが、暫定一覧表に掲載されたことを機に、県内の教会やキリスト教にゆかりの地を訪ね、殉教者や信仰深い人々の生き方に思いを寄せ、「癒し、安らぎ、祈り」を感じていただく「ながさき巡礼ツアー」をご提案しております。この「心の旅」によって、多くの方々に長崎県を訪ねていただき、関西と長崎の交流の輪がますます大きくなることを期待しております。

さらに、ふるさと長崎の歴史や文化を、全国に向けて広く紹介するために、県内外において、いわゆる「長崎学」講座を開講しております。関西地区においても、去る7月から9月にかけて、キリシタン文化をテーマとした講座を3回にわたって開講したところ、延べ約600名もの方々が受講され好評を博しました。来年以降も、長崎県に因んだ新たなテーマにもとづいた講座を開講する予定です。

また、ふるさと長崎を舞台とした映画やテレビドラマが今後放映される予定で、来る　11月1日より全国ロードショーとして、「まぼろしの邪馬台国」が東映系で上映されます。これは、島原市生まれの古代史研究家・宮崎康平氏の半生と、彼を支えた妻和子夫人を描いた作品で、竹中直人と吉永小百合がそれぞれを演じます。島原半島や佐賀県吉野ヶ里などがロケ地として紹介されます。是非、劇場へ足をお運びになり、遠き故郷に思いを馳せてご覧いただきたいと存じます。

一方テレビでは、平成22年放送のNHK大河ドラマが「龍馬伝」に決定いたしました。

これは、坂本龍馬と交友が深かった同じ土佐藩出身の岩崎弥太郎が、龍馬の短い生涯を描いたドラマです。岩崎は、三菱財閥の創業者で、三菱長崎造船所の創設に関わっています。龍馬自身も、我が国初の総合商社である「亀山社中」を長崎で興すなど、長崎のあちらこちらに、龍馬の足跡が今もなお残っています。龍馬の活躍の舞台となる長崎が、ドラマの随所で見聞でき、長崎の幕末史をこれまでと違った新たな視点で楽しめるものと期待しております。

長崎県大阪事務所におきましては、郷土の明るい未来を創造するために、長崎の観光、物産及び産業の振興などに活路を見いだすべき役割をこれからも懸命に担っていく所存でございます。皆様方におかれましても、ふるさとのますますの発展のために、今春創設された「ふるさと納税」制度などを通じて、今後も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげ、併せて皆様方のご健勝ご多幸をご祈念し、ごあいさつといたします。

ながさき人のお店＠KANSAI

Vol. 1　中華料理長崎飯店（大阪市港区）

京セラドーム大阪の近くの「みなと通り」沿いに、「中華料理長崎飯店」という看板が結構目立つ。入り口のメニュー見本の陳列棚を見ると、「頑張ってメニューの値段を値下げしました」と張り紙がしてあった。

うーん、石油高、物価高のご時勢、こんなことを書けるのは開放的で楽天的な長崎県人の気質か？

ちゃんぽん（５００円）、皿うどん（５５０円）もいいけど、陳列棚でひときわ目を引いていた「デラックス定食　７００円」を注文した。さすがデラックス。酢豚とヤキソバ、玉子焼きの「３部作」にスープが付いてボリュームたっぷり。

まずは酢豚を。甘酢あんの具合がなかなか良い。長崎新地中華街の味に似ていて美味い。次はヤキソバだ。普通のヤキソバとちょっと違うな。塩ヤキソバみたい。それも麺が太い……。

？？★☆！！

あっ、食べてわかった。

これはチャンポンの麺で作ったヤキソバだ。昔、長崎で良く食べたあの味だ！

味はシンプルなれど、長崎人の私にとってはヒジョーに懐かしい、「味のある」料理であった。

やはりご主人は五島の出身で、この地で４３年にわたりこのお店をやっているとのこと。さすが歴史が物語っている。

（１３回生　岩永和弘）

中華料理長崎飯店
大阪市港区南市岡１－７－２９
（ＪＲ・地下鉄の弁天町駅、大正駅からいずれも徒歩十数分）
電話０６－６５８１－８９３９
火曜定休（※第３火・水は連休）

長崎南高校関西同窓会事務局
大阪市中央区北浜２の３の６
北浜山本ビル３階
松本藤一法律事務所内
電話０６－４７０７－８５１８
ﾌｧｸｽ０６－４７０７－００３８
http://www.kansai-ishidatami.net/